



官民連携DX女性活躍推進 コンソーシアム ご報告

グラミン日本の取り組みご紹介

2026年7月7日

一般社団法人グラミン日本
中川理恵



中川理恵 一般社団法人グラミン日本 理事・COO



能力とは関係なく機会に恵まれなかった女性たちが、自ら稼ぐ力をつけることができる環境づくりを目指して活動しています。

大阪府生まれ、現在は淡路島に在住

大学卒業後は家業の部品メーカーに入社、7年間シンガポールに駐在
米系半導体装置メーカーでグローバルアカウントマネジャーを経て、
ミスミグループ本社ファクトリーオートメーション事業で商品開発、生産調達、EC
マーケティング、のちに執行役員・カンパニー社長
最後の1年はサステナビリティ推進役員を担当

現在は、

- **ソーシャルビジネス**

2022年よりグラミン日本・理事に就任
地方女性、特にひとり親の方々の起業・就労をサポート

- **ローカルビジネス**

2025年より淡路島・島の人事部（経産省地域の人事部事業）に参画
地元の中小企業の人材マッチング、業務・組織変革と女性活躍を支援

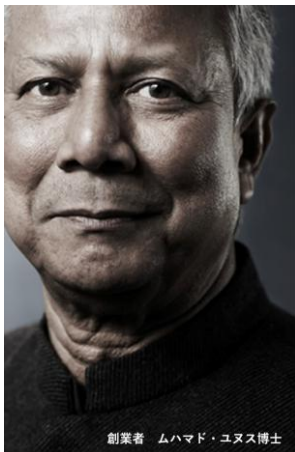
- **グローバルビジネス**

上場企業社外取締役

グラミン日本とは、グラミン銀行の日本版オペレーション

グラミン銀行

- ◆ 1983年バングラデシュで創立されたマイクロファイナンス機関
- ◆ 延べ900万人以上の女性の自立を達成
- ◆ 特徴は5人1組の互助グループ、「ノーベル平和賞」を受賞
- ◆ 世界40か国以上で展開



日本版オペレーション

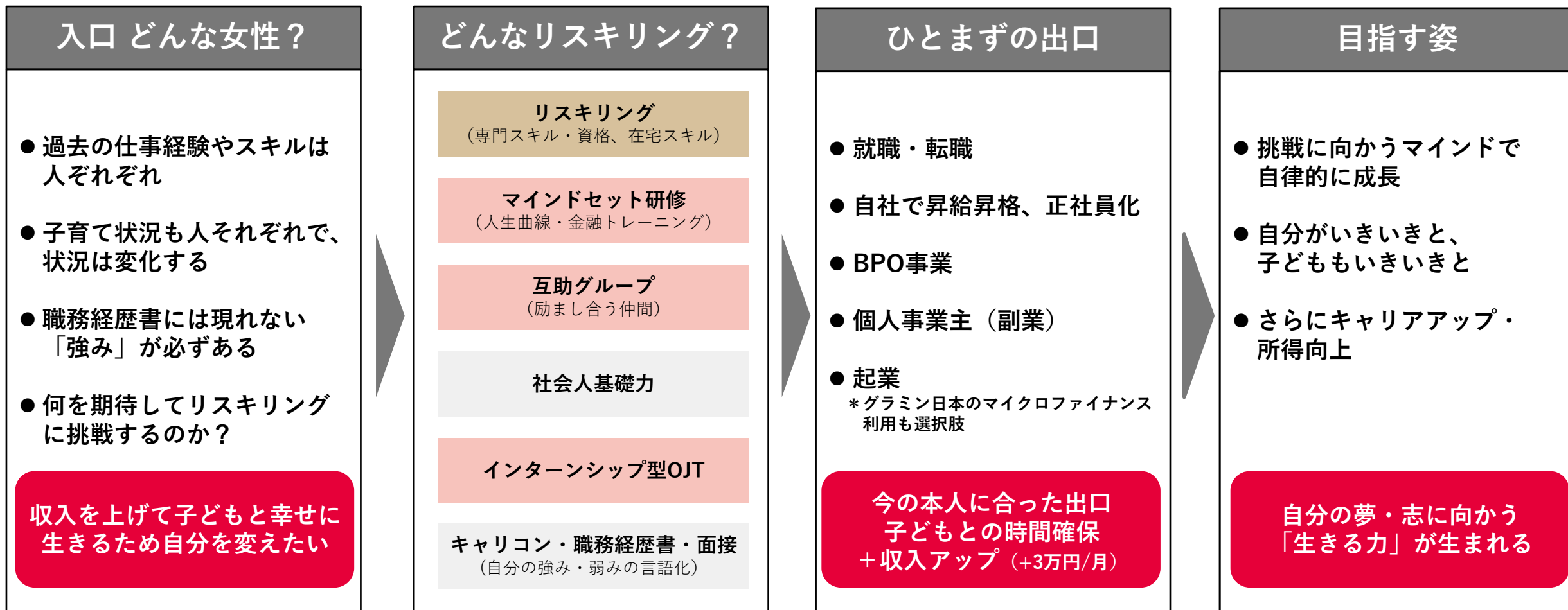
- ◆ 2018年9月 非営利型の貸金業として設立
- ◆ 「チャンスをお願い、一步を踏み出したい」と想う人々の伴走者として活動中
- ◆ シングルマザーの経済的自立に特化して3つの事業を展開中

マイクロ
ファイナンス
事業

デジタル就労
支援事業

休眠預金
事業

グラミン日本 デジタル就労支援 入口～出口～目指す姿（基本形）



企業・教育機関等のパートナーとの協働

グラミンメソッド：グラミン銀行が持つノウハウをもとにグラミン日本で開発

3年で変わった「頑張る」の意味



上村あかね
グラミン日本BPO事業チーム



インパクト雇用セミナーでお客様
(株式会社アルコバレーノ) と共に登壇

入口
(リスキリング前)

「頑張っても、頑張っても、生活するだけで精一杯」
「…このままではだめだ」

リスキリング
(研修・OJT)

「本当にこれを頑張る意味があるのだろうか」
「完走できたのは伴走支援と一緒に学んだ仲間のおかげ」

出口
(BPO2年目)

「『失敗してもいいよ』の安心感、だから挑戦できる」
「世界が変わった」
「お母さんの変化を見て、子どもも変わる」

夢・志
(現在)

「未来をつくるために頑張る」
「いつか私と同じように一歩踏み出したいと願う人の役に立ちたい」

インパクト雇用の普及啓蒙

インパクト雇用とは

「潜在的能力はあるが一般的な採用方法では雇用機会が限定的な層」*を雇用対象とし、

雇用によるイノベーションや社会的貢献を目指す取り組み

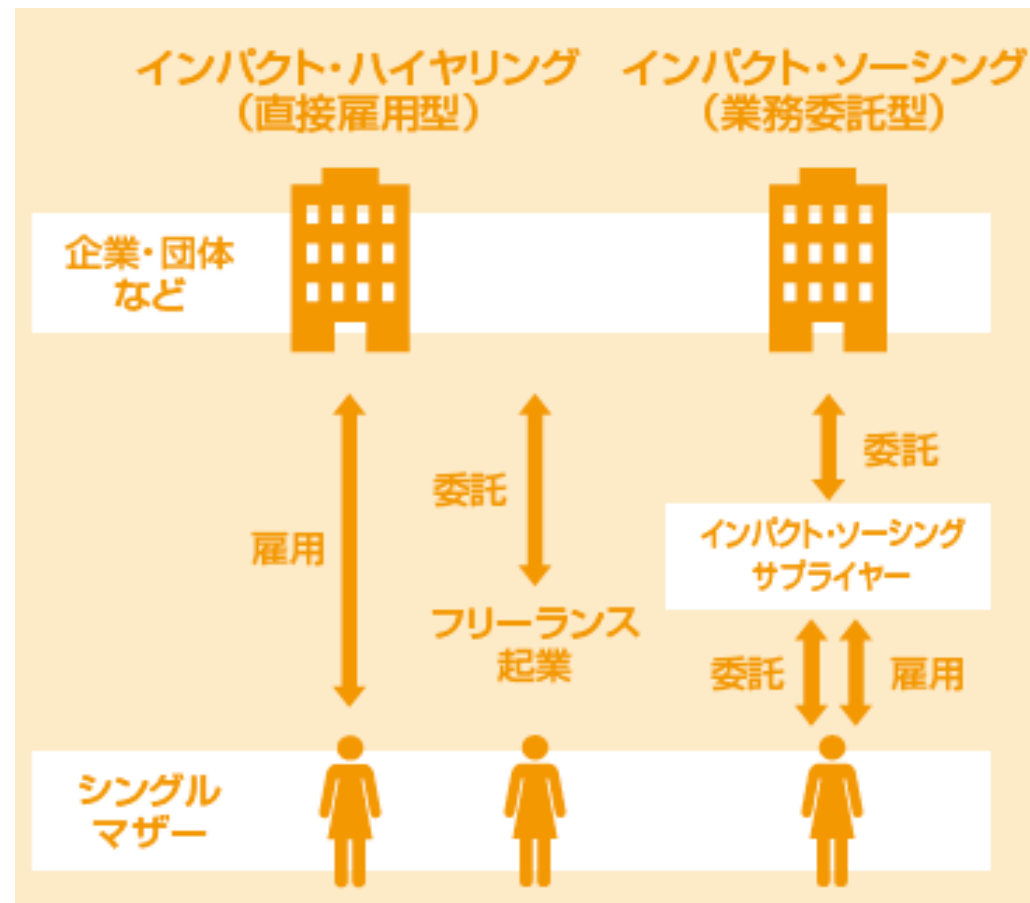
*シングルマザー、障がい者、難民、介護人材など

グラミン日本 note

インパクト雇用とは？
～人的資本経営との関係を整理～
1 人的資本経営における「インパクト雇用」の有効性



インパクトソーシングの実験場としてBPO事業を運営
インパクト雇用事例をnoteにて発信中



企業にとってのメリット

雇用サプライチェーンを通じた
社会的インパクトの実現

グラミン日本 全国での取り組み

BPO事業

顧客企業からの業務委託・自主事業

受託事業

企業・自治体からの受託による人材育成

睡眠預金事業

資金分配団体として実行団体を支援



支援団体
コグニティ(株)

支援団体
BlessU

佐久市ひとり親就業伴走
型支援事業
(株)BCC/グラミン日本

岩手県陸前高田市脱炭素先行地域
電気保安人材育成（陸前高田しみん
エネルギー）

女性のエネルギーで三陸の未来を創
る事業（陸前高田しみんエネルギー/
女性が働きやすい会社/グラミン日本）

グラミンBPO事業
(株)見える化)

支援団体
(株)Ccobi

支援団体
mia forza

グラミンBPO事業
(大熊警備隊)

グラミンBPO事業
(JR東日本/HRテクノロジー/Arcobareno)

支援団体
オカヤマビューティ
サミット

支援団体
(株)キズキ

支援団体
ヨグニティ(株)

支援団体
(株)きらり。コーポレーション

支援団体
(株)うむさんラボ

糸満市 デジタル人材育成
(株)MAIA/グラミン日本

支援団体
ウィズワー
ク・ラボ

グラミンBPO事業
(淡路島 島の人事部)

支援団体
(株)キャリア・マム

いま直面しているのは、地方のひとり親就労支援の課題

グラミン日本のパートナー企業の特徴

- 業務標準化とDX化ができており、最初から当社との業務連携イメージがある
- 当社メンバーはチームの一員、日々密にコミュニケーションを取っている
- 問題があればすぐに両社リーダーが介入して解決を図る体制
- インパクト雇用の考え方に深く賛同し、自社事例を対外発信している

地方の中小企業の特徴（一般的に）

- 業務改善・DX化が進まず属人業務が多い
- フルタイム・長時間、出社が基本、多様な働き方には未対応
- マルチタスクが求められるため代替人材の採用が困難
（業務種類は多、1業務あたり人工は小）

地方中小企業と女性・ひとり親活躍の課題は
「同時解決」が必要

今後進めていきたい地域での取り組み

こどもみんな
こども家庭庁

民間企業と協働した就業・定着までの一体的支援強化事業

新規

支援局 家庭福祉課

＜母子家庭等対策総合支援事業費補助金＞ 令和8年度概算要求額 196億円の内数（180億円の内数）

事業の目的

- 母子家庭の母又は父子家庭の父の就職を容易にするため、「高等職業訓練促進給付金」等の支給により資格取得の支援を行っているが、個人の状況によっては、就職・転職や正規雇用等につながりにくい場合や、就職しても子育てとの両立に困難を抱える場合があることが指摘されている。
（就業中のひとり親家庭の母で「資格あり」は65.0%、そのうち「現在の仕事に役に立っている」は67.0%（正規で働くひとり親家庭の母の平均年間就労収入は344万円））
- 資格取得後のミスマッチによる不就業を防ぐとともに、ひとり親支援担当部局と産業振興部局等との連携を通じたひとり親家庭の職域拡大を図るため、就職・転職の準備段階から就職先の決定、就職後のフォローアップまでの支援を一体的に行うモデル事業を創設し、成果を横展開する。
➤ 人手不足となっている分野・企業とのマッチング等地域の実情を踏まえた就業・定着を力強く支援

事業の概要

＜対象者＞ 母子家庭の母又は父子家庭の父

＜事業内容＞ 以下のような取り組みが考えられるほか、自治体独自の創意工夫を凝らした実効性のある取り組みを幅広く補助対象とする

取組例 1

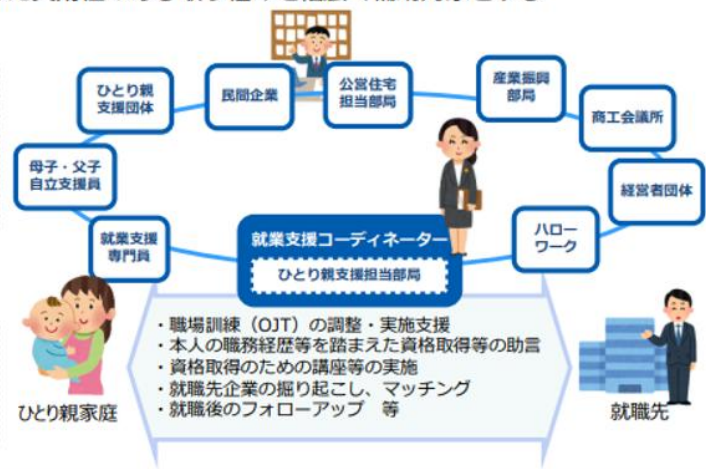
就業支援コーディネーターによる就業支援

- ケース①：あらかじめ就職先を決定した上で、試用期間における職場訓練（OJT）の実施支援や正式採用に向けた調整、就職後における定着促進のためのフォローアップを実施
- ケース②：本人の意向や職務経歴などを踏まえた資格取得に関する助言などオーダーメイドの就業支援、資格取得のための講座等の実施、就職先のあっせんを行う

取組例 2

生活基盤の安定や定着促進のための伴走支援

民間賃貸住宅の低廉貸付や公営住宅の優先入居などにより生活基盤の安定を図りながら、ひとり親の雇用に積極的な企業への就職や、より稼働所得の高い企業への転職等の挑戦を後押しし、就職後も定着促進のための伴走支援を実施



1企業・団体だけでは推進が困難

地域におけるコーディネート機能の担い手が重要

実施主体等

【実施主体】都道府県、市（特別区を含む）福祉事務所設置町村 ※民間団体への委託可 【補助率】国：10／10

【補助基準額】都道府県・指定都市：41,000千円、市（指定都市を除く）・福祉事務所設置町村：28,000千円（いずれも1自治体あたり）

生活基盤の安定化支援を実施する場合【加算措置】：9,360千円

今後進めていきたい地域での取り組み



ETIC

「女性の**はた**らき方をもっと**フレンドリー**に
誰もが活躍できる組織づくりプログラム」



人材不足の解消に向け、多様な人材を戦力化する組織変革を目指すプログラム。

女性をはじめ、時間制約のある多様な人材が活躍できるよう従来の慣習や社内制度を見直し、多様な働き方に対応できる「組織の土台」づくりをサポート。

全国7エリアで同時開催し、地域コーディネーターの伴走支援のもと、他企業・他地域との学び合いを通じて組織変革を進め、さらに自治体や支援機関とも連携し、地域全体へ波及させることを目指す。

地域パートナー団体
として連携



淡路島 島の人事部（運営：淡路ラボ）

対象：兵庫県淡路市、洲本市、南あわじ市

中小企業5社を対象に

- ・組織・業務変革の伴走支援
- ・多様な働き方を通じた女性人材の採用支援
- ・市役所、商工会、金融機関との連携
- ・淡路島でのモデル企業づくり